

MORIOKA YMCA NEWS

盛岡YMCAの使命

私たち、盛岡YMCAは、イエス・キリストによって示された生き方に学びつつ、豊かな自然と歴史的伝統に満ちた岩手の地で、こども、家族、地域とともに公正で平和な世界の実現を目指します。

1. こどもたちの個性を大切に、それぞれの夢や希望、生きる力を育みます。
2. 家族の絆といのちの大切さを深め合います。
3. 共に生きるために、異なった文化、多様な価値観と出会う場を提供します。

2月号 新しい年に平和を誓う



編集発行人: 濱塚有史 発行所: 特定非営利活動法人 盛岡YMCA 岩手県盛岡市本町通3-1-1
TEL 019(623)1575 e-mail: morioka@ymcajapan.org URL: <http://www.ymcajapan.org/morioka/>

10年後

太田裕子 (盛岡YMCAリーダー)

「今の出会いが10年後の自分の人生の豊かさを決める」と、ある人から言われたことがある。私自身、十数年前に盛岡YMCAと出会っていなければ、今とは全く違う人生になっていただろう。社会福祉の分野を学ぼうとしていたものの、ボランティアや子どもに関する事にはあまり興味がなく目的意識もそれほど持っていなかった私が、盛岡YMCAからの1通のメールに始まり、子どもたちと関わる今の仕事を選ぶに至っている。私の、子どもに寄り添う姿勢や考え方は大学生リーダー時の体験が基盤になっているように思う。

仕事柄、子どもたちを取り巻く環境が変わった事はもちろん、子どもの質が変わったとも聞く。けれど、本当に子ども達は変わったのだろうか。子どもたちの、何かを見つけたときの目の輝きや、周りの声も耳に入らないほどの真剣さ、好きなことをし続ける情熱…これらは私がリーダーをしていたときと何も変わっていないように感じる。変わったのは子どもたちを見る大人たちの目ではないか。大人の枠や都合に子どもは当てはまらないということを、どこか忘れていよう

な気がする。そんな中、盛岡YMCAはいつでも“子どもらしさ”や“その人らしさ”を大事にしていたように思う。実際にリーダーとして活動していた時も、様々な価値観の人が集まり、意見が対立する事もしばしば。このような状態で大丈夫だろうかと思った時もある。けれど、意見が対立するの譲り合えるのも、ありのままの自分を出せるからなのだろう。子どもたちのことを最善に考えていれば、最後には自然にまとまるものだとは幾度となく納得させられた。今も何かにつまづいた時、「YMCAのリーダーやスタッフはどのように捉え、対応するだろう」と考える事がある。リーダーとして活動していた時のように、物事を子ども目線で見ているかどうか、私の子どもへの接し方の原点なのだろう。

10年前に盛岡YMCAに影響を受けて今を生きている私の、さらにまた10年後が楽しみでもある。私は10年前、そして今、誰かに何かを残しているだろうか。子どもたち、そして自分自身の10年後に何らかの影響を与えているような、そんなYMCAやリーダーたちであり続けて欲しいと思う。



新しい年に平和を誓う

日本YMCA同盟 総主事 島田 茂

昨年は国際赤十字社の創設者で、第一回ノーベル平和賞を受賞したアンリ・デュナンの没後100周年でした。デュナンは、スイスYMCAの設立メンバーでもあり、赤十字創設8年前の1855年、世界YMCA同盟結成に貢献しました。デュナンは、イタリアで内戦に遭遇し、『人類みな兄弟』という精神（スローガン）のもと負傷した兵士を救うために、赤十字運動を提唱しました。彼の行動の根底には、国、民族、性別、宗教、職業にとらわれない、イエス・キリストの愛があります。

尖閣諸島の問題以降、マスコミに流れる情報からは、中国で反日運動が盛んに行なわれ、多くの中国人が反日的な思想の持ち主であるようなイメージで報道されています。日本で今、若い人びとの間で起きている在日の中国人や韓国人に対する排外主義も、それぞれの人種を一面的に捉えているような傾向があります。人は、生まれた土地や風土にある文化や習慣に影響を受けるものですが、同一の国の中でも町や村、さらに家々で習慣や考え方は異なります。中国では、多くの中国人が日本企業で働き、日本の製品やテレビ番組を愛好しています。中国に行くと反日運動がいかに針小棒大に報道されているかということに気づかされます。

人は、人種や国籍などから、画一的なイメージを持ちたがります。しかし、互いに出会い、語り、生活を共にすることで、一人ひとりの人間は異なり、それぞれに暖かさや優しさがあることが分かります。日本各地のYMCAでは、中国、韓国、フィリピン、ミャンマー、タイ、インドネシア、ベトナム、カンボジア、東ティモールなどアジア各地のYMCAと地道な交流活動を行なっています。生活を共にし、ワークを通して汗を流し合うことで、青年同士が友情というかけがいのない絆で結ばれます。2008年5月に起きた中国・四川大地震の際には、翌年夏に災害復興支援ワークキャンプを日本・中国・韓国・香港YMCAのユースが参加し合同で行なわれました。

今人類には、地球の温暖化や核兵器拡散の問題など世界の生存をかけた、緊急の課題があります。国益や領土の問題などで争っている場合ではなく、子どもたちの未来を約束するために、国と国を超えて団結して解決しなくてはなりません。東北アジアの平和を願い、この1月に日本・中国・韓国YMCA平和フォーラムを開催し、それぞれの指導者が韓国・仁川に集い、地球市民育成のためのカリキュラムや将来的な交流・協働事業の計画について話し合います。YMCAが平和を作り出す世界最大の青少年団体として、『人類みな兄弟』の愛の精神で、持続可能な社会の実現に貢献できることを祈ります。（THE YMCA 1-2月号より）



1月サンデースクール



1月23日、仁王児童センターでサンデースクールが行われました。新年一発目のサンデーはゲーム大会です！9人の子どもたちと7人のリーダー達が混ざった2つのグループに分かれて、4つのゲームをしました。1つ目のゲームは、アルミ缶を積み重ねてタワー

を作りてっぺんにミカンに乗せる、名付けて「アルミ缶の上にあるみかん」ゲーム☆そして2つ目は障害物リレーです。ほふく前進で一周してこなければならぬこのリレーでは、びっくりするほどほふく前進がはやい子もいて、その様子をみんな応援したり見て笑ったりしていました。3つ目のゲームは福笑いですが、パーツが大きいんです！！なのでみんな目や鼻を持ってふらふら・・・。「右！右！」「行きすぎだよー」とたくさん声が飛び交いました。最後のゲームはブルーシートにグループ全員が乗ります。クイズに間違えばブルーシートが小さくなって行くので大変！とうとう片方のグループが乗りきれなくなってしまいました。「じゃあみんなで乗ってみよう」とさっきの大きさに2つのグループを合わせた人数が乗ります。だんだん小さくなっていくブルーシートにどう乗ろうか、と最後はグループ関係なくみんなでワイワイ過ごしたサンデースクールとなりました。

もりおかワイズメンズクラブ主催 ソバ打ち教室

1月21日（金）プラザ おでって5階において、もりおかワイズメンズクラブ主催のソバ打ち体験教室が開催されました。体験農場で収穫した蕎麦粉をワイズメンズクラブの大関さんご夫妻のご指導のもと、打ち、試食するというもので、昨年を引き続きの開催になります。7人のワイズメンズクラブのメンバーと6人のボランティアリーダーが集合し、なれない手つきでソバ打ちに挑戦しました。

のばした蕎麦の生地がリアス式海岸のようになったり、きし麺のような太さの麺になったり、様々なハプニングがありましたが、出来上がった蕎麦の味は格別でした。



ウィンタースクール 2クール



年が明けて2011年の1月5日、ウィンタースクールの第2クールが内丸教会で始まりまし
た。4日間通して天気にも恵まれたスクールとな
り、フリーの時間になると、外に出て鬼ご
っこをしたりそり遊びをしたりと、午後は
毎日暗くなるまで外で遊んでいました。室内
でも、かくれんぼや工作など思い思いの遊び
をしていました。それぞれが紙で剣や盾など
武器を作ったたたかいごっこ、紙飛行機な
どはみんなに広まって内丸教会中戦士だら
け、紙飛行機だらけ、という日もありまし
た。

2クールでは、日を重ねるごとに一人ひとりが思いっきり遊ぶ様子が増えてきたと思います。また、いろいろな子が様々な遊びの場面で一緒に遊んだり、話したり、と関わりの中での楽しみも増えていったと思います。また次の機会です。みんなと楽しみを増やしていきたいと思います。



社会人になった シロクマリーダーの料理教室④

家村知佳



相変わらず、寒い日が続きますね。こたつの中から抜け出せない、寒がりのシロクマです。こんな寒いときは、お腹の中からあたたまりたい！！今回はそんなときにオススメのあったかメニューをご紹介します。

その名は「玉米湯（ユイミイタン）」。要するに、中華風コーンスープです。

【材料】（2人分）

スイートコーン（クリームタイプ） 150g、にんじん 15g、ゆでたけのこ 15g、

サラダ油 小さじ1、さやえんどう 10g、卵 1ヶ、

A（お湯 320ml+鶏がらスープの素 小さじ2）、塩 小さじ1/2、片栗粉 4g

【作り方】

にんじん・たけのこを3cmのせん切りにする。

さやえんどうは筋を取り、さつと茹でて長さ2cmの斜め切りにする。

にんじん・たけのこを油でさつと炒め、Aを加えて煮立てる。

スイートコーンを入れ、塩で調味し、水溶き片栗粉でとろみをつける。

溶き卵を一面に流し入れ、さやえんどうを散らして、、、完成☆

お好みで塩加減は調節して下さい。さらに、生姜を少し加えると体がカカボ効果が高まりますよ♪
スイートコーンのほのかな甘さとトロっとした口当たりが何とも言えず、ホッとさせてくれるスープです（´∀`）
どうぞ、お試しください☆

リーダーお勧めの本⑨ イモこリーダー

葉っぱのフレディーいのちの旅

作：レオ・バスカーリア 訳：みらいなな 絵：島田光雄
出版社：童話屋

私、いもこからは『はっぱのフレディー』という絵本を紹介しします。話題となった作品なので読んだことがあるという人も多くいると思います。

この本は、葉っぱのフレディーが木の上で1年間過ごした生活や、親友で物知りのダニエルとの出会いを通じて、生きるとはどういうことか、死とは何か、いのちとは何かを考えていくお話です。

春に生まれたフレディーはたくさんの葉っぱたちと一緒にすくすくと育ちます。夏には人間のために木陰を作り、秋には紅葉します。冬にはさびしい仲間との別れ、そして「死」がやってきます。仲間が次々と散っていくなか、木の上にひとりきりになったフレディーは・・・。

葉っぱの一生を書いた本ですが、まるで私たち人のことを書いているように思えます。また、本の中に出てくるダニエルがフレディーに話す言葉が深くていいんです。特に「月の光、星明かり、1日の気温、なにひとつ同じ経験はないんだ。だから紅葉するときはみんなちがう色に変わってしまうのさ。」という言葉がお気に入りです。

読む学年によって感じ方も変わってきますし、大きくなってから読み返してみても前は違った考えや、新しい気づきが出てきます。絵本なので読みやすく、子供から大人まで楽しむことができ、そしてなにか考えさせられる一冊です。



感謝

2010年度 1月30日現在
順不同・敬称略
● 国際協力募金 ●

● 国際協力募金 ●

Michael Jackson (匿名) 吉田光希 (サッカースクール) 庄司翔太 (学童保育) 三上彩音 (水泳教室) 川村愛望 (学童保育) 鈴木聖流 (学童保育) 関まなか、関希 (ベスト・キッズ) 菊池崇江 (ワイズメンズクラブ) 及川響 (ジュニアユースサッカースクール) 山本真大 (ベスト・キッズ) 西里龍哉 (学童保育) 濱塚牧人 (ジュニア・ユース) 濱塚直樹 (メンバークラス) 矢田部直輝 (ベスト・キッズ) 菅原陸・柊・空 (ベスト・キッズ) 阿部実結 (学童保育) 伊藤終馬 (ベスト・キッズ) 三上隆生・絢士 (ジュニアユースサッカースクール) 廣田貴大 (サッカースクール) 高橋翔次 (水泳教室) 吉田伶 (学童保育) 宮野桐次 (水泳教室) 田村孝太 (水泳教室) 山崎詩織 (学童保育) 阿部春陽 (学童保育) 小船秀斗 (水泳教室) 千葉代子 (ワイズメンズクラブ) 佐々木良英 (学童保育) 水田賢次 (理事) 伊藤克見 (維持会員) 伊藤喜代江 (維持会員) 工藤直子 (維持会員) 大関靖二 (ワイズメンズクラブ) 濱塚秋二 (維持会員) 川守田浩 (維持会員) 重石桂司 (監事) 鶴丹谷三千代 (理事) 原田麻由 (リーダーOG) 南原良哉 小林茂元 川底拓洋 (水泳教室) 川原優祐 (水泳教室) 荒川真輔 (サッカースクール) 興盛工業所岩手支店、伊藤眞一郎 (維持会員) 伊藤みどり (維持会員) 小畑孝子 (維持会員) 新里ちえ子 (維持会員) 杉下一郎 (元メンバー) 保護者、清水弘一 (常議員) 石崎稜、一之 (ジュニア・ユース) 千葉代子 (ワイズメンズクラブ)

感謝

2010年度
順不同・敬称略

● 維持会員 ●

菊池崇江、熊谷太、鶴丹谷三千代、水田賢次、新里ちえ子、金田一世美子、重石桂司、大関靖二、長谷川精一、北田ユウ子、田村治之、伊藤克見、伊藤喜代江、濱塚秋二、濱塚れい子、布川雅樹、布川直子、神永瞳、小畑孝子、松尾聡子、及川茂夫、及川恵、川守田浩、晴山真理子、工藤直子、竹内一真、清水弘一、吉崎陽、千葉代子、今松桂子、金野東輝子、井上修三、井上優子、井上浩太郎、阿部靖、今野聖子、今野健男、金田節子、中原眞澄、古澤伸、角谷晋次、角谷千代子、佐藤翔、伊藤眞彦、越前谷洋子、池田二郎、石渡隆司、濱塚有史、濱塚真美

● 寄付金

熊谷太、水田賢次、長谷川精一、伊藤克見、伊藤喜代江、布川雅樹、布川直子、神永瞳、及川茂夫、及川恵、川守田浩、工藤直子、清水弘一、吉崎陽、今松桂子、杉下一郎、井上修三、阿部靖、今野聖子、中原眞澄、角谷晋次、佐藤翔、伊藤眞彦、伊藤みどり、越前谷洋子、池田二郎、石渡隆司

★維持会員★

盛岡YMCAは、1983年から活動を始め世界を見つめながら盛岡の地域に根ざした活動を多くの方々に支えられながら続けて来ました。維持会員とは、盛岡YMCAの使命に賛同し盛岡YMCAの活動を支えるため、維持会費を払って会員となった方々です。

◆盛岡YMCAの維持会員としてYMCAの諸活動をおこなうために、申し込み方法、YMCAにお問い合わせ下さい。

2月の予定

- ★ 2月6日(日)
復活そり遊び!
於:小鹿牧場
- ★ 2月12日(土)
ワイズメンズクラブ例会
於: JARAN JARAN

- ★ 2月13日(日)
サンディスクール『竹細工』
於:盛岡YMCA前湯センター
- ★ 2月14日(月)
中学生準備英語休講
中3長文読解英語休講
- ★ 2月19日(土)
～20日(日)

- 「スキー&雪祭り体験」
於:田沢湖県営スキー場
- ★ 2月27日(日)
もりおか
YMCAフットサル大会
於:岩手県立大学体育館

- ★ 3月6日(日)
サンディスクール
『つるつるうどんづくり』
於:盛岡YMCA前湯センター
- ★ 3月20日(日)
チャリティ・フットサル大会
於:岩手県営体育館

3月の予定

あの頃君は～ ♪若かった～♪⑤

ビーチリーダーの巻



今回の「あの頃君は若かった」では、ビーチの小さい頃の紹介をしたいと思います。小さい頃の私は、静かでほとんどしゃべらない子でした。本当に仲のいい子としかしゃべらず、先生からもクラスの子からも「おとなしい子」と思われていたと思います。学級会で話すことが出来ずに廊下に立たされたこともあるほどです。「本当に私っておとなしかったなあ・・・」と思いつながらアルバムを見ていると、意外な事にやんちゃな写真ばかりでした。あらためて思い返してみると、そういえば小学生の頃は毎日のように「人生バラ色だ」と言っていました。

本当はどんな子だったんだろう? 小さい頃の自分に会って話がしてみたいと思ったビーチでした。



(岩手県立大学
社会福祉学部4年 佐藤愛美)

こぼれ種④

「平場」ということ

日本基督教団 内丸教会教師 (元日本YMCA同盟 主事
中原真澄



「平場(ひらば)」という言葉、ご存知ですか? 15年ほど前、青少年育成国民(県民・市民)会議が小泉改革で潰される以前、全国の青少年/国際交流団体の研修での出会いでした。仙台から来た方が「ひらば」を連発されるので尋ねました「<ひらば>ってどういう字ですか」。そこで教えていただいたのがこの字と意味でした。誰もが平らな場で交わり、教え学びあう...そういう関係を言うのですよと。

先日あるスタッフが「YMCAに関わるようになって、子どもからたくさん教えてもらった」と言うのを聞き嬉しくなりました。そうなのです、場面を限れば、指導する者と指導される者という立場の違いはありますが、同時に、互いに教え学びあう別の面がある...そうした「平場」であり続けるのがYMCAの特徴・生命線と言えるでしょう。とりわけ指導する側にそうした動きを感じ、自ら変わっていく力(姿勢)がなければ、YMCAではなくなってしまいます...先月の言葉で言えば(自動詞ではなく)他動詞の(運動ではなく)組織になってしまうのではないのでしょうか。

このことはまた、人が人として交わるものの中心でもあるでしょう。YMCAでは多くの方がボランティアとして活躍します。ボランティアとして誰かと関わった方の多くは、むしろ相手からしていただいた・与えられたという感謝と喜びを感じ、それが続ける動機になっています。「してあげる」積もりが、実は「平場」で生かされている人間は、それ以上の何かを受け取っている...このことを感じることが何よりも、自分の、生きている全ての「いのち」の尊さを知ることはないのでしょうか。

あなたがたの中で偉くなりたい者は、皆に仕える者になり、いちばん上になりたい者は、皆の僕(しもべ)になりなさい。人の子[イエス]が、仕えられるためではなく仕えるために、また、多くの人の身代金として自分の命を献げるために来たのと同じように。(マタイによる福音書20章26～28節)

～表紙の写真から～



1月16日(日)、30日(日)と八幡平リゾートスキー場で日帰りスキーツアーが行われました。YMCAのスキーの初心者指導は、ストックを使わずになだらかな斜面をハの字で降りてきて止まることから始まります。しっかりと止まることができた子どもからリフトに乗ることが出来ます。小さい子はスキーを履いたまま斜面を登るだけで飽きてしまうので、上でスキーを履かせてハの字を整えてスタートさせるリーダー、そして滑って来た子を抱きとめるリーダーと2人のリーダーが必要になります。写真は、初心者クラスの子供たちと盛岡大学2年のダダリーダー(高橋みどりさん)2回とも初心者クラスを担当したダダリーダーは、スキーを履いたのは合わせて5分少々。後はひたすらスキーを履かせ、受け止めていました。その思いが子ども達に伝わったのか30日は、初心者クラス全員がリフトに乗ることが出来ました。やったね!ダダ!(濱)

写真は、初心者クラスの子供たちと盛岡大学2年のダダリーダー(高橋みどりさん)2回とも初心者クラスを担当したダダリーダーは、スキーを履いたのは合わせて5分少々。後はひたすらスキーを履かせ、受け止めていました。その思いが子ども達に伝わったのか30日は、初心者クラス全員がリフトに乗ることが出来ました。やったね!ダダ!(濱)